



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社フジオフードグループ本社 上場取引所 東
コード番号 2752 URL <https://fujigroup.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理本部長 (氏名) 仁田 英策 TEL 06-6360-0306
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	23,796	1.7	589	△48.7	456	△55.4	57	△87.9
2024年12月期第3四半期	23,403	5.0	1,149	268.2	1,024	335.5	471	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 122百万円 (△74.8%) 2024年12月期第3四半期 486百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	1.12	—
2024年12月期第3四半期	10.38	10.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	24,571	8,630	35.1
2024年12月期	26,310	8,578	32.6

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 8,623百万円 2024年12月期 8,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,291	3.1	617	△49.3	468	△54.5	45	△90.1	0.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	51,267,537株	2024年12月期	51,241,921株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	74株	2024年12月期	74株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期 3 Q	51,254,139株	2024年12月期 3 Q	45,438,340株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加等により、緩やかな回復基調が続きました。一方で、アメリカの政策動向や地政学的リスク、物価上昇による消費者マインドの低下等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、人流の回復やインバウンド消費の拡大等により堅調な需要が続いているものの、食材やエネルギー価格、人件費の上昇等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリーで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」を中心とした既存中核業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高237億96百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益5億89百万円（前年同期比48.7%減）、経常利益4億56百万円（前年同期比55.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円（前年同期比87.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<直営事業>

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「麺乃庄 つるまる」、「さち福や」、「天麩羅 えびのや」等の事業展開を行っております。

当事業では、時間帯別売上分析による適切なシフトコントロールによってコスト削減を行うとともに、販売実績のABC分析から顧客ニーズを図りターゲットを狙った商品開発を行いました。また、季節フェアキャンペーンの推進、既存店舗の美装改装、SNSやメディアを活用したブランド認知度の向上等による集客力向上施策を実施し、全ブランドの既存店の業績改善に努めてまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は226億4百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は22億4百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

<FC事業>

FC事業におきましては、フランチャイズ加盟企業及び社員独立による営業委託者とのコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、さらなる集客・売上の向上を目指しております。

主な活動といたしましては、フランチャイズ加盟開発の強化、現環境に適した業態への変更の提案等を行ってまいりました。また、更なる事業規模拡大に向け、直営店の売却・営業委託を積極的に進め、ストック型のビジネスモデルへの転換に努めてまいりました。

以上の結果、FC事業全体の売上高は11億92百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は8億66百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

当社グループの2025年9月末時点の店舗数は703店舗（直営店（国内）387店舗、直営店（海外）5店舗、委託店（国内）84店舗、FC店（国内）209店舗、FC店（海外）18店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	委託店 (国内)	FC店 (国内)	FC店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	78	2	27	159	7	273
神楽食堂 串家物語	69	-	5	25	2	101
麺乃庄 つるまる	28	-	14	10	6	58
さち福や	34	-	3	6	2	45
天麩羅 えびのや	31	3	2	3	1	40
その他	147	-	33	6	-	186
合計	387	5	84	209	18	703

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は17億39百万円減少し、245億71百万円となりました。

資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末から17億71百万円減少し、固定資産が31百万円増加しております。流動資産が減少した主な理由は、現金及び預金の減少42億54百万円、信託受益権の増加27億円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は、投資有価証券の増加1億3百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して17億90百万円減少し、159億41百万円となりました。これは主に買掛金の減少1億52百万円、借入金の返済による減少13億80百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払い、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行等により、前連結会計年度末と比較して51百万円増加し、86億30百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期通期の連結業績予想につきましては、2025年8月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,738	8,483
売掛金	634	618
棚卸資産	194	149
前払費用	266	293
未収入金	150	130
信託受益権	-	2,700
預け金	1,274	915
その他	71	266
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,328	13,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,546	3,530
工具、器具及び備品（純額）	203	247
土地	740	740
建設仮勘定	26	32
その他（純額）	81	81
有形固定資産合計	4,598	4,632
無形固定資産		
のれん	1,269	1,196
その他	29	56
無形固定資産合計	1,298	1,252
投資その他の資産		
投資有価証券	343	446
関係会社株式	165	168
繰延税金資産	10	10
敷金及び保証金	3,525	3,483
その他	1,210	1,201
貸倒引当金	△169	△180
投資その他の資産合計	5,085	5,129
固定資産合計	10,982	11,014
資産合計	26,310	24,571

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,558	1,405
1年内返済予定の長期借入金	1,510	3,652
未払金	1,492	1,445
未払費用	589	541
未払法人税等	289	142
未払消費税等	256	185
株主優待引当金	444	466
賞与引当金	19	-
資産除去債務	20	14
その他	377	413
流動負債合計	6,557	8,267
固定負債		
長期借入金	9,141	5,618
リース債務	59	65
資産除去債務	1,075	1,068
預り保証金	213	222
繰延税金負債	137	168
持分法適用に伴う負債	500	500
債務保証損失引当金	34	22
その他	14	8
固定負債合計	11,174	7,673
負債合計	17,732	15,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,956	5,971
資本剰余金	6,661	5,149
利益剰余金	△4,151	△2,669
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,466	8,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	100
為替換算調整勘定	78	71
その他の包括利益累計額合計	106	171
非支配株主持分	6	6
純資産合計	8,578	8,630
負債純資産合計	26,310	24,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	23,403	23,796
売上原価	8,129	8,450
売上総利益	15,273	15,346
販売費及び一般管理費	14,124	14,756
営業利益	1,149	589
営業外収益		
受取利息	3	11
受取配当金	3	6
持分法による投資利益	12	1
その他	56	68
営業外収益合計	74	87
営業外費用		
支払利息	95	153
支払手数料	75	8
その他	28	59
営業外費用合計	200	221
経常利益	1,024	456
特別利益		
固定資産売却益	4	2
受取立退料	39	-
その他	5	-
特別利益合計	49	2
特別損失		
店舗解約損	28	18
固定資産除却損	0	2
減損損失	395	266
特別損失合計	423	287
税金等調整前四半期純利益	649	171
法人税等	177	114
四半期純利益	472	57
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	471	57

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	472	57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	72
為替換算調整勘定	5	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	14	65
四半期包括利益	486	122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	486	122
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月27日開催の第26回定時株主総会決議により、資本準備金を1,692百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を1,424百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過措置及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過措置に従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	414百万円	409百万円
のれん償却額	73百万円	73百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年1月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	直営事業	F C 事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	3,793	—	3,793	—	3,793
神楽食堂 串家物語	5,705	—	5,705	—	5,705
麵乃庄 つるまる	894	—	894	—	894
さち福や	2,397	—	2,397	—	2,397
天麩羅 えびのや	1,572	—	1,572	—	1,572
その他	7,834	—	7,834	—	7,834
F C 加盟金売上	—	120	120	—	120
F C ロイヤリティ売上	—	537	537	—	537
F C イニシャル売上	—	60	60	—	60
F C ランニング売上	—	488	488	—	488
顧客との契約から生じる収益	22,197	1,205	23,403	—	23,403
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	22,197	1,205	23,403	—	23,403
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	22,197	1,205	23,403	—	23,403
セグメント利益	2,378	816	3,195	△2,045	1,149

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,045百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。
全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては395百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年1月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	直営事業	F C 事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	3,801	—	3,801	—	3,801
神楽食堂 串家物語	5,684	—	5,684	—	5,684
麺乃庄 つるまる	1,262	—	1,262	—	1,262
さち福や	2,479	—	2,479	—	2,479
天麩羅 えびのや	1,588	—	1,588	—	1,588
その他	7,788	—	7,788	—	7,788
F C 加盟金売上	—	132	132	—	132
F C ロイヤリティ売上	—	566	566	—	566
F C イニシャル売上	—	78	78	—	78
F C ランニング売上	—	413	413	—	413
顧客との契約から生じる収益	22,604	1,192	23,796	—	23,796
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	22,604	1,192	23,796	—	23,796
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	22,604	1,192	23,796	—	23,796
セグメント利益	2,204	866	3,070	△2,480	589

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,480百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。
全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては266百万円であります。